

地域移行支援・地域定着支援の活用過程における心理的変容

—退院と地域生活につながる動機づけについての予備的調査—

Psychological transformation in "Transition Support for Community Life" and "Support for Continuing Community Life"

-Preliminary research on motivation leading to hospital discharge and community life-

○尾辻菜月¹, 渡辺修宏²

Otsuji Natsuki, Watanabe Nobuhiro

国際医療福祉大学 医療福祉学部 医療福祉・マネジメント学科 精神保健福祉コース¹, 国際医療福祉大学²

International University of Health and Welfare

Key words: 地域移行支援, 地域定着支援, 心理的変容

目的

地域移行支援とは、障害者支援施設等及び精神科病院に入所・入院している精神疾患・精神障害者等に対して、住居の確保や障害福祉サービスの体験利用・体験宿泊のサポートなど地域生活へ移行するための支援である。そして地域定着支援とは、単身等による地域での生活に不安を抱えた精神疾患・精神障害者等になんらかの困り事があった際に、指定一般相談支援事業者等が電話相談や緊急訪問を提供する支援である。以上の2つの支援は、いわゆる社会的入院等によって地域参加が妨げられてきた精神疾患・精神障害者等（患者・当事者・利用者）の、より「自分らしい生活」を実現するための重要な福祉サービスといえる。

本研究は、地域移行支援・地域定着支援の活用過程における当事者の不安、期待、葛藤、喜びなどの心理的変容を明らかにすることによって、精神科病院等からの退院や地域生活への移行の動機づけについて検討し、退院支援、あるいは、地域移行支援・地域定着支援といった一連の援助方略の一助をなすことを目的とする。

方法

調査対象（参加者）：地域移行支援・地域定着支援を活用していた/している者（統合失調症、パニック障害を患っている60代の男性A）と、その者と相当の期間に渡ってかかわりのある、医療・福祉機関に所属する援助者であった。

調査方法：訪問聞き取り調査および半構造化面接であった。

面接は、Aが普段利用している社会資源で、安心して話せる環境（喫茶店等）で実施された。Aの承諾を得た上で、IC recorderを用いて面接場면을録音し、また、メモで記録した。面接は、参加者と第1著者との一対一で実施された。半構造化された質問項目は9項目であった（表1）。

調査期間：20XX年Y月に、日にちをまたがって計3回、およそ2時間に渡って実施された。

倫理的配慮：調査対象者（参加者）に、研究の趣旨、参加・不参加の自由、途中中断が可能なこと、得られたデータは個人が特定されない方法で分析することなどの個人情報保護について事前に説明し、同意を得た。

結果

調査の結果、精神科病院入院時から、地域移行支援・地域定着支援等を利用して退院し、地域生活に移行し現在に至るまでの経緯および状況と、その過程におけるAの心理状態を聞くことができた。さらに、精神科病院入院に至る前の生活史・家庭状況等や、それが入院および退院後に及ぼしている影響についても聞き取りすることができた。また、それらの内容の信頼性を裏付けるために、Aと長いかかわりのある援助者から、ある程度の実事確認を得ることができた。

考察

退院から地域生活移行過程におけるAの心理状態は、1) 多様な医療・福祉機関とそれらに所属する援助者らとのかかわり、2) Aの家族という社会資源、3) Aの生活史（生活履歴）という3つの要素からの影響によって、大きく変容してきたことがうかがえた。それぞれの要素が、楽しみや嬉しさというポジティブな効果と、不安や恐れといったネガティブな効果の両方をもたらしてきたと考えられた。よって、どのようなネガティブな心理状態に陥ったとしても、そしてその原因が維持されたとしても、ポジティブな心理状態への転換が可能であることが示唆された。それはそのまま、退院や地域移行に対する動機づけに直結するかもしれない。特にそれは、医療・福祉にかかわる援助者の多様なかかわりによって展開される、また当事者自身の経験と気づきによって発展すると考えられた。

表1 半構造化面接における質問項目

- 病院からの退院に至った経緯
- 病院から退院するときに、主に感じていた期待していたこと
- 病院から退院するときに、主に感じていた心配や不安
- 退院しようとした後や、退院した後の体調の変化
- 退院して気づいたことや、変化したこと
- 地域で生活している中で、特に努力されたこと。
- 地域で生活していて、不安が生じたときや困ったときに相談できる方
- 退院し、地域生活して良かったと思うこと。
- 今後の生活の目標。